



学校だより



令和8年5月29日
江戸川区立新田小学校
第3号

子供たちの笑顔や成長のために

校長 鈴木 剛司

5月24日（日）に新田フェスティバルが開催されました。新田フェスティバルは今年で36回目の開催となります。ステージパフォーマンスや様々な模擬店の出店、体験イベントがあり、とても盛り上がりを見せていました。新田小学校の子供たちも、嬉しそうに買い物をしたり、模擬店を生き生きと手伝ったり、ステージショーを楽しんだりする姿が見られました。また、6年生がマーチングで参加し、なぎさ和楽苑での演奏や鼓笛パレード、ステージパフォーマンスと緊張しながらも、多くの観客の皆様から大きな拍手をいただくことができました。ここまで、限られた時間内での練習は大変でしたが、このようなことはなかなか体験できず、自信につなげることができたと思います。

このように子供たちがフェスティバルを楽しんだり、成長の場としたりするためには、たくさんの方々に支えられていることを忘れてはいけないと思っています。町会の方を始め、フェスティバルを運営してくださっている皆様は、地域を盛り上げるために、長い間ほとんどボランティアで頑張ってくださいしています。そして、模擬店は手作りのため、新田小学校PTAおまつり委員会を中心としたボランティアの方とお父さん会も、当日までの準備そして朝から夕方までの運営、片付けまで、子供たちを楽しませるために頑張ってくださいました。

また、鼓笛パレードのために、ボランティアの6年保護者の方が、道具を運んだり、安全を見守ったりしてくださりました。

子供たちには、フェスティバルを楽しむだけでなく、様々なことをしてくださっている方々への感謝の気持ちをもつように伝えました。

新田小学校では、日頃から子供たちの笑顔や成長のために、たくさんの方が頑張ってくださいしています。

PTA（会長、役員や委員会）の皆様によって、子供たちのスムーズな地域行事への参加、安全確保、楽しい様子等の伝達、子供たちが喜ぶ行事の実施等が行われています。PTAでは、今までの内容に固執せず、子供たちにとって良いと思うことを実施することを目指して頑張ってくださいしています。

お父さん会は、今年も他では体験できない、宿泊イベントや落語教室、6年生のための餅つきなどを予定しています。お父さん会という名前ですが、子供を楽しませたいという思いをもっている方ならどなたでもお待ちしておりますとのことです。こうしたイベント以外にも、お父さん会の皆様には、運動会の準備や見守り、片付け等、運営に関することでたくさん助けていただいています。

すすくすくスクールでは、放課後の居場所作りとするだけでなく、子供たちに様々な体験をさせたいと日々考えて、イベントを行っています。高学年の子がみんなを楽しませるために、できることを考え運営する「ミニミニ縁日」や「ハロウィンやクリスマスお楽しみ会」は、他ではなかなか見られない取組です。新田小の高学年児童が低学年児童のお世話をよくする礎となっています。また「じゃがいも食べよう」といったイベントのため、すすくすくのサポートセンター長は、子供たちと苗を植え付け、毎日のように畑を手入れしてくれています。すすくすくの方々は「子供と一緒に楽しめる時間はあっという間に過ぎていってしまうので、日々行っている折り紙や野球、けん玉、外遊びなど、保護者の皆様にも一緒に来て楽しんでもらいたい。」と話しています。ぜひ、子供たちの素敵な笑顔を見に来るとともに、一緒に楽しんでいただけたら幸いです。

ここに書かせていただいたのは一部ですが、子供たちの笑顔は皆様に支えられていることを忘れずに、学校としてできることに取り組んでいきます。いつもありがとうございます。

江戸川区立新田小学校 HP：<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/1310034>

